

議
町

長 日程第3「町長の行政報告」に入ります。

長 皆様、おはようございます。こここのところ随分と富士山の冠雪もですね、厚さを増してきました。いよいよ冬らしい寒さもまた感じるきょうこのごろでございますけれども、議員各位の皆様方におきましては、ますますの御健勝のことと心からお喜びを申し上げたいというふうに思います。

さて、去る11月25日に、平成28年第4回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては公私にわたり大変御多忙のところ、全員の御出席を賜り、ここに本定例会が開催されますことを、まずもって御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

さきの臨時議会でも報告をさせていただきましたけれども、観光経済課課長兼参事の山口参事でございますけれども、手術のほうは無事に終了ということでございまして、年内は療養させていただき、年明けに出勤、出勤というか戻させていただきますので、本定例会に欠席していることを私のほうから報告とまたおわびを申し上げたいと思います。よろしく願い申し上げます。

それでは、議会に先立ちまして、貴重なお時間を拝借いたしまして、行政報告をさせていただきます。

まず、国の地方創生加速化交付金を活用した、寄地区における愛犬との共生をキーワードとした癒しの里づくりと、地域経済の活性化と雇用の確保による人口増加を目指すやどりき癒しの里創生事業につきまして、10月28日に本事業の事業パートナーとなる民間企業がランドブレイン（株）横浜事務所と（株）足柄グリーンサービスの連合体に決定をしたところでございます。本事業は、寄地区に点在する地場産品などの食や、寄ふれあいドッグランを核としたその周辺に存在する観光施設等のモノ、農業や芸術などに打ち込むヒトや、そういった人材によって生み出された芸術作品などなどの豊かな資源を結びつけることにより、寄地区全体の活性化に向け、地域経済の好循環を生み出そうとするものでございます。

また、首都圏等に在住する愛犬家に対して、豊かな自然環境の中で愛犬が楽しみ癒される特別な空間と時間を提供することで、愛犬家も幸せになれるような寄地区を発信することで、当地区のブランドイメージの定着とオンリーワン

産業を誕生させ、地域のにぎわいの復活、新たなビジネスモデルの構築、定住・移住化の促進を目指すものでございます。

主に、現在のドッグラン施設をリノベーションし、カフェやレストランの併設をすることで地場産品を食材とし地域の産業を育てるほか、雇用促進につなげてまいります。また、来園者がふえることにより寄全体の地区の経済活性化の起爆剤としたいというふうに思っております。

既に、11月30日に第1回の協議会が開催され、年内に2回ほど開催されるということでございます。また、年明けからはドッグラン整備、その他施設の改修等々をですね、進めることとなっております。これから事業が寄地区の活性化につなげること、それがひいては松田町、足柄地区の活性化につなげてまいりたいというふうに思っております。

また、同じく地方創生交付金を活用し、有害獣被害等実態調査委託につきましても受託事業者のほうで決定しており、被害実態調査やくくりわな100基と箱わな10基を購入し、捕獲活動を行う予定でございます。この事業の一環といたしまして、町民を対象としたくくりわな講習会を12月10日土曜日に寄地区、12月11日の日曜日には松田地区で開催する予定です。農家の方々を中心に、可能な限り多くの町民にわなの使い方を習得していただき、各猟友会様と連携しながら喫緊の課題である農作物被害を軽減させる体制づくりに取り組んでまいります。

日には前後いたしますが、10月10日に開催されましたスポレク祭、今、町民運動会とか言われているものでございますが、延べ634人の方々に参加をいただき、健康ウォーキングや綱引き、子供向けのゲームなどなど、幅広い年代で盛り上がることができました。また、最後のリレーでは白熱した盛り上がりを見せ、周りから多くの歓声をいただいております。議員の皆様にも御参加をいただきまして、本当に大変感謝を申し上げたいと思います。

また、10月22から23日にかけて開催されました町文化祭では、昨年より多くの方々に御参加いただき、おおよそ1,500人の方においでいただきました。ことしは、寺子屋まつだが参加をしていただき、おしごと楽校を開校していただきました。子供たちが多くのブースで仕事体験をしておりました。参加され

た団体からは、明るく、元気がよく、お手伝いをしてくれたことがよかったと高評価をいただいているところがございます。延べ115名の子供たちの参加をいただきました。この事業は、子供たちに社会経験をしてもらうことで、大人とのかかわりやお金の仕組みを理解をしていただくことを目的として実施をしたものでございます。

さらに、産業まつりにおいても、寺子屋まつだとして1ブース確保し、文化祭と同様におしごと楽校を開催をしたところがございます。延べ164人の子供たちの参加をいただきました。今後も、町イベント等を通じ継続してまいりたいというふうに考えております。

学校の適正規模・配置に関することでは、教育委員会が主体となって検討をまいりましたが、議会の皆様方にも御理解をいただき、3年の期間をもって松田中学校と寄中学校を統合することについて決定をさせていただいているところがございます。今後、保護者説明会、子供たちへの説明と、早急に統合準備委員会や閉校に向けた準備委員会を立ち上げ、よりよい教育環境を整備してまいりたいというふうに考えております。

続きまして、二酸化炭素排出抑制対策事業、いわゆるCOOL CHOICE運動といたしまして、10月21、22に小田原市で開催されました「地域が元気になる脱温暖化全国大会2016 in 小田原」では、COOL CHOICE運動の啓発や松田町の観光PRを兼ねたポスターセッションに参加をさせていただき、またセッション2では「市民・地域のやる気を支える！」のパネリストとして私が登壇させていただき、松田町の取り組みを発表してまいりました。全国大会とあつて、全国各地から来られた方々に松田町を知っていただく貴重な機会だというふうに思っております。

次に、平成26年度より取り入れております職員自衛隊体験入隊研修が10月25日から27日の3日間にわたり行われ、8名の職員が参加してくれました。これで3回目となりますが、25名の職員が参加したことにより、全職員の4分の1が参加したことになります。この研修会は、基本教練で礼式を学び、格闘訓練、行進訓練、体力検定等を行い、節度を重んじた秩序ある行動を認識するとともに、精神を鍛練し、規律性・協調性を養うことを目的として行っているもので

ございます。今後も、職員教育の一環として継続してまいりたいというふうにも考えております。

続きまして、大規模災害の発生に備え、応急対策活動、復旧復興活動に関する人的・物的支援につきまして、他の自治体や民間企業、関係機関49団体との間で災害時応援協定を締結しております。このたび、災害時における乳幼児連れの家庭が避難所生活を送る際に、子供の泣き声に気を使い、授乳時には人目を気にするといった精神的苦痛を感じるということがないように、乳幼児とその家族を受け入れる福祉避難所といたしまして、10月28日に松田さくら保育園様と、また町内に倉庫をお持ちになっている食品卸売会社でありますことから、災害時に町民の方々に必要な飲料水を迅速に確保し、町への物資供給を支援していただくことといたしまして、11月1日に株式会社杉山様と、それぞれ災害時応援協定を締結したところでございます。今後も、想定外をとにかく少なくし、町民の安全・安心につなぐ取り組みを行ってまいりたいというふうに考えております。

続きまして、町が誇る美しい自然、また歴史、産業、観光及び芸術文化などの魅力を全国に広く発信し、町の知名度やイメージアップを図ることを目的として、松田町にゆかりのある方にふるさと大使をお願いしているところでございます。歌手の北川大介さん、俳優の山崎一さんに続き、11月14日に甲子園ですばらしい戦歴をお持ちで、当町出身の前横浜高校野球部監督であられる渡辺元智さんにふるさと大使に就任いただきました。今後は、まちのPRはもとより、松田町の野球教室や青少年育成、人材育成のために講演いただくとともに、スポーツ振興について幅広い視点から助言をいただくというふうに考えております。

10月17日には、エネルギーの地産地消と地域防災対策を推進するため、ほうとくエネルギー株式会社様と湘南電力株式会社様、株式会社エナリス様との3社とエネルギー地産地消モデルの構築に関する協定を締結いたしました。再生可能エネルギーを中心とした地域で発電された電力を使用することで、送電によるロスを減らし、結果的にCO₂削減に寄与するものでございます。

また、防災拠点として、健康福祉センターと寄小学校へ民間資本による太陽

光発電設備10キロ及び蓄電池10キロを整備し、通常時には施設内の電力の一部として電力使用を行い、削減を図ります。万が一、大規模災害により送電がとまった場合でも、1日程度の電力を補うということができる想定として、防災力の向上につながるものと考えております。この設備導入により、年間約50万円の電気料の削減が見込まれる予定となっております。

続きまして、今年度も昨年に引き続き、11月19日に松田山ハーブガーデンにて松田町縁結びサポート事業実行委員会主催のもと、婚活イベントが開催されました。25歳から45歳までの応募者112名の中から、抽選で選ばれた男女46名が参加をいただき、ハーブ館からの夜景を楽しみながらゲームなどお互いの交流を深めた結果、ことしは3組のカップルが誕生し、ハーブのブーケを手にしたと聞いております。この催しが定住促進につながるようですね、今後も推進をしてまいりたいというふうに考えております。

さて、このほか観光面につきまして、初めに6月の第4回に引き続き、10月11、12に第5回ちよい呑みフェスティバルが町内参加店24店舗で開催され、1,080枚が販売されたと聞いております。夕方には多くの方々が黄色いチラシを持ってお店を回っていたようで、飲食店組合の皆様方にはこのイベントによる町内商店街のにぎわいはもちろんのこと、町のPRを担っていただいていることに感謝申し上げたいというふうに思います。

続いて、ことしは11月27日に恒例の産業まつりが開催されまして、ことしは昨年以上の約1万人もの方々が訪れていただきました。松田町と姉妹町であります千葉県横芝光町さんからは、毎年好評になっております特産のひかりねぎなどを多数お持ちいただきました。そのねぎをお求めになられる方々で長蛇の列ができ、早々に完売をしておるといってございませう。また、姉妹町などからは松田町へ来ていただくことだけでなく、前後いたしますが、11月20日には、横芝光町の産業まつりに私どもも伺いました。晴天に恵まれた開催の中、早生ミカンや鹿シチュー、養魚組合さんのヤマメ・イワナの塩焼き、またサクラマスの燻製などが人気を呼び、大盛況のうち終了したところでございませう。経済的な交流の密度が、年々高まってきているというふうに感じております。また、横芝光町は合併10周年を迎えたことから、10月15日には記念式典が開催

され、参加してまいりました。今後も、両町の経済交流を深めるなど、連携強化を図って参りたいというふうに思います。また、横芝光町の姉妹都市関係にあります長野県千曲市さんからは、特産のリンゴやヤマイモを持ってきていただきました。例年になく多くの方にお買い求めいただき、早々に完売するなどの好評を博したところでございます。ことしは、特産品の販売だけでなく、町が普及啓発を進めておりますCOOL CHOICEの一環として、環境に負荷をかけない電気自動車、いわゆるEVバスの試乗も行われました。最高スピードは時速19キロと決して速くはありませんけども、再生可能エネルギーの導入が進められる中、新しい移動手段として注目を浴びているためか、試乗者希望が多かったと聞いております。今後も、桜まつりでのEVバスの試乗会や講演会などを通じ、普及啓発に努めてまいります。また、出店ブースでは、県環境部と神奈川県地球温暖化防止センターの御協力により、来場された多くの方々に節電、エコドライブ、うちエコ診断、エコ10トライなどの説明を実施し、啓発物品の配布もしていただきました。

最後に、11月26日より12月25日までの約1カ月間、第14回まつだきらきらフェスタを開催しているところでもございます。12月17日には、ハーブ館におきましてクリスマスミニコンサートが行われるなど、数々のイベントを企画されております。毎年、人気が高まるこのきらきらフェスタでございますが、議員各位におかれましては、御多用のところまことに恐縮でございますが、ぜひ御参加いただければというふうに御案内申し上げる次第です。また、ことしの新たな取り組みといたしまして、ドローンによる空中からの撮影をホームページや庁舎2階の入り口のテレビにて放映中でございますので、ぜひごらんいただくようお願いをいたします。このドローンを使った映像につきましては、今後ロウバイまつりや桜まつりでも活用し、いろんなメディアを活用しながら全国配信をし、町のイベントのPR活動をしてまいりたいというふうに予定しております。

さて、本日の定例会に付議いたしました案件は、条例の一部を改正する条例が3件で、税条例の一部を改正する条例は地方税法等の一部が改正されたことにより、軽自動車税のグリーン化特例の延長がされます。また、小児医療の助

成に関する条例の一部を改正する条例につきましては、学校教育法の一部が改正されたことにより、義務教育学校の定義が定められましたので規定するものでございます。国民健康保険税条例の一部を改正する条例は、外国人居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律が一部改正されたためでございます。個人住民税で課税される特例適用利子及び配当の額が国保税の所得割や軽減判定に用いるための改正となっております。そのほか、町道認定が1件、一般会計など4会計の補正予算でございます。

なお、今回提出させていただく各案件につきましては、議事の進行に伴い、私を初め、副町長、教育長、課長等により御説明を申し上げますので、よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

本年もわずかになってまいりました。ことし1年、議員の皆様方に御理解・御協力いただきまして、行政運営をさせていただきましたことを改めて御礼を申し上げるとともに、平成29年からもですね、お願いをいろいろすることになるかと思っておりますので、よろしく御願い申し上げ、あと残りわずかですけども、議員の皆様、本当にお体にはですね、十分に御留意されて、よいお年を迎えられますことを心から御祈念申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。

本日から何とぞよろしくお願い申し上げます。

議 長 町長の行政報告を終わります。